



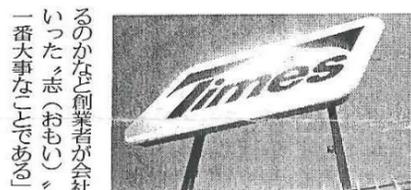
新大分土地代表取締役社長

阿南 勝啓氏

創業の志を伝承、地域に夢発信

「ひととまちの夢を開発する企業を目指して」
2年前、阿南社長が同社の社長に就任したときに掲げたスローガンである。これは、同社が不動産を求めず、すべてのお客様(ひと)の夢づくりを応援し、自ら地域(まち)に夢を発信していきたいという、創業者や先輩たちが築きあげてきた会社の姿勢、そして地域大分の企業としてお客様や地域に生かされているという感謝のおもいを込め、社員と共有する理念として設定した。

沢永吉さんが、1975(昭和50)年にソロデビューした時の「アイラブユーOK」という曲を歌い、このころは、変わらぬというメッセージが流れるものがある。それを見ながらどんなに時代が変わろうが、ビッグスターになろうが、デビュー当時の熱い情熱や夢は25年たっても変わらぬから、今でも現役で走り続けていられるんだというおもいを感じた。



大分市の中心部に展開する新大分タイムズパーキング

事業を手がけてきた。一つの時代も会社が存続していくためには、利益を追求することほもちろんだが、その前提として会社が何のために創業し、地域やお客様のために何ができるのか、創業者が会社を興したときの夢や情熱といった志(おもい)を伝承していくことが一番大事なことである。

同社にとって仕事とは、建物や土地という「モノ」を売り提供するだけでなく、不動産を通して新規事業の開業や大分で生活する人の楽しい笑顔やよろこびをつくりだすことだという。
「ひととまちの元氣や夢を応援したい」という阿南社長は2年前から、24時間営業のコインパーキング「新大分タイムズパーキング」事業を大分市中心部で展開している。駐車場が1台増えれば路上駐車は1台減る。使いやすい駐車場を1台でも多く社会に提供して違法駐車のない快適な都市空間をつくりたいというおもいと土地の有効活用を生かしたものである。

ただでなく、仕事をがんばる人や街を歩む人のためにビジネスやレジャーに活用するネットワークス、ティーンズと位置づけ、サービスを充実していく。現在、新大分タイムズの利用者は、圧倒的に若者が多い。今後大分市中心部に新大分タイムズを拡大していくと同時に、昨年開設したHPでレストランやお店などのタウン情報を発信したり、iモードでも駐車場の満車情報も紹介したりという、いろんな提案をしていきたい。
「21世紀という新しい時代、手法や事業内容は変えていくかもしれないが、創業者や先輩から受け継いだ志(おもい)は変わらない」。
40歳を迎えたばかりのガッツあふれる阿南社長の夢は広がる。

新大分土地株式会社

大分市中央町1丁目5番25号
新大分ビル4F
TEL(097)534-3371

http://www.shinoita.com